

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を作り、実践しております。	理念を体現するようにしている。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の実践に日々取り組んでおります。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居時、また運営介護の際に説明しています。	今後も地域の方、家族の方含めて取り組んで生きたいと考えております。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	町内で散歩や買い物、また散歩を兼ねてゴミ拾いを行ったりしながら、挨拶等を交わすようには行っております。	行事があるときなどは、近所の方にも知らせて参加してもらえるように行っていきたい。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭りに参加させていただきました。また、地域のボランティアさんに関わっていただいております。	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	民生委員の集まりに参加し、GHがどんな施設であるかを説明し、介護で困ったときは相談してほしいと伝えている。		地域の方への介護相談会
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回、外部評価を行うにあたり、各スタッフにも周知し、意義を話し合った。		今回の結果を踏まえて、スタッフ全員で話し合い改善に向けて取り組んでいきたい。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町会長、民生委員、ご家族と参加していただき、そこでの話し合いはサービスの向上に活かされている。		今後も継続し行い、家族・地域の方との意見・交流を持ちながら行っていきたい。またあんしんケアセンターや行政なども交えて話し合えるようにできたらと考えている。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	変更届の際などはよく顔を出し、意見を交わすようにしている。		今後もホーム・地域・家族の方だけでなく、行政の力が必要などときがあるので、協力して解決していけるように関係を持ちながら行っていきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	該当する方の入居があったため、市役所・高齢福祉課・福祉、市・県の社協(権利擁護)あんしんケアセンターなど関係機関とは相談しながら、対応・支援している。		今後も関係機関とは協力しながら支援できるようにしていきたいと考えている。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内では実際にはないが、市からの資料等を利用してスタッフも周知するようにしている。		今後もそのようなことがないように努めていくが、地域でそういった相談等あった場合にうまく支援できるように行って行けるようにしていく

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居に当たっては、ご家族含め不安が大きいので実際に面接し、資料を用いながら分かりやすく説明するように努めている。		入居に当たっては、ご本人含めて信頼関係を構築し、入居となるように努めたい。
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	特別に何か設置しているわけではないが、日々の生活で入居者から出たこと、ご家族から出たことは改善するように努めている。		各スタッフが、入居者・家族が小さなことでも言えるような信頼関係が築けるように行い、苦情や不満点が早期に解決できるようにしていきたい。
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご家族へは毎月の様子報告をまとめてお渡ししている。また何かあれば連絡を取るようにしている。		今後も連絡は密に取りながら、対応していきたいと考えている。
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からみて気がついたこと、また本人から聞いて気になったことがあれば何でも話してくださいと常に聞くようにしている。		13に同じ
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、定期的にミーティングを行っている。また申し送りや個々に出る意見は常に聞きながら行っている。		定期的にミーティングなど行い、皆で話し合い意見を交換できる場を増やしていきたい。
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況に応じて、シフトを調整し対応している。		今後も状況に合わせて対応していけるようにしていきたい。
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	極力そのようにしている。		今後も同じく配慮していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同じ社内での研修や連絡会を通して研修の機会は設けるようにしている。		今後も研修等には積極的に参加できるようにしていきたい。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のGH連絡会に参加し、また認知症の連絡会などにも参加し交流を持つように努めている。		他GHと積極的に交流をもち、協力しながら質の向上を図っていきたい。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	社内のほか営業所と交流を持ったりと働きやすい環境をと取り組んでいると思う。		働いているスタッフからも意見を吸い上げ、より良くできるように取り組んでいきたい。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	社内研修も積極的に行い、向上心を持って働けるように努めていると思う。		上記に同じ。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学・相談から、相手の話を聞き何を求めているのか、必要としているのかを確認しながら援助するように努めている。		今度継続し行っていきたい。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人同様ではあるが、また家族の立場からの話しをよく聞きながら受け止めるよう努めている。本人の前で話しにくい場合などは、場所に配慮するなどしている。		安心して話せるように雰囲気や信頼感がもてるようにありたいと思う。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居の相談を受けた時は、現在の状況や利用しているサービスなどの確認を行い、継続できるのかまた他サービスで受けられるものがあるのかなどを検討しながら対応している。		サービスも様々変わっていくので、地域や行政で受けられるサービスの種類など含め、自分たちも幅広く知っておくように努める。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族にまずはホームを見て様子・雰囲気を知っていただくようにしている。本人の意向も出来るところは配慮しながら、受入の努力をしている。		今後も本人・家族が住みやすい配慮を行っていく
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共に生活を共有し過ごせるように行っている。		今後も出来る限り一緒に過ごせるよう行っていく。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族とも連絡を取り情報を共有することで、本人を支えていけるように配慮している。		毎月、入居者の情報を家族に渡しております。イベントにも積極的に参加できるようにしたい。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居前に本人・家族からできる限り話しを聞きどのような関係であったかを理解し、入居後も良い関係が保てるよう配慮しながら行っている。		今後も継続していきたい。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が大切にしてきたものや話のなかで出てきた方など、ご家族にも本人の希望などを伝えながら対応に努めている。		今後も継続していきたい。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個々の関係を尊重しながらも、季節に応じた行事やレクなど全員で参加できるものも組み入れながら行っている。		今後も継続していきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去された方はほとんどが亡くなっているため、現在は関係と言うほどの関係はないが、退去時等にもし力になれることがあればいつでも相談等させて頂く旨説明している。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話などから本人の希望や意向を把握するようにし、なるべく1対1でも話を聞くようにしている。		入居者が希望していることなど、各スタッフ間でも共有し、希望を汲んでいけるようにしたい
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に面接を行い、生活暦などの状況確認は行っている。また担当ケアマネなどの関係機関があれば、連絡をとり今までの状況の把握には努めるようにしている。		今後も継続していきたい。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	各入居者の変化については、常に各スタッフで申し送り把握するようにし、必要な支援が出来るよう努めている。		今後も継続していく。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の希望、家族の希望を汲み取りながら、必要な援助が出来るよう計画を作成している。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	大きな変化など生じたときは家族関係者と話し合いながら対応しているが、計画作成は充分行えていない部分がある。		変化に対応した計画の見直しに努めたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は、気づきや実践したことなど記録に努めているが、充分に行えていない部分もある。		個々のスタッフの気づきや工夫を共有し、その上でカンファレンスを行い、計画の見直し、実践へとつなげていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人家族の希望に併せて、訪問歯科や理容を取り入れ対応している。		今後、必要なものは取り入れながら対応していきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	絵画のボランティアや手話のボランティアなど、地元で活動している方の協力を得ながら行うように努めている。		地域の支援が得られるように幅広く協力を呼びかけ、地域の資源を活用していきたい
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	同じ社内にはなるが、デイの行事や太鼓や歌や踊りなどのボランティアが来たときなど、一緒に参加させてもらい交流を図るようにしている		地域のサービス事業者で行事等あれば、共同で行ったり、交流をもてるようにしたい
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の参加の協力やまた包括が担当してた方々では一緒に協同で取り組んでいる		今後も包括とも協力し、地域にも還元できるようにしていく
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前にかかりつけ医については、本人や家族の希望を確認し、それに沿うように柔軟に対応している 必要に応じて家族の代わりに付き添い介助も対応している		今後も継続していく

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>必要に応じて、受診対応している</p>		<p>今後も継続していく</p>
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>通院時など受診した際には、看護師にも相談したりしながら対応している。</p>		<p>今後も継続していく</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>入院時には状況を出来る限り、医療機関にも伝え、退院時には本人がスムーズにホームに戻っても対応できるよう情報交換しながら行っている</p>		<p>今後も継続していく</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>現在、対象の方がいないが、そのような場合には項目にあるよう対応していく予定</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>上記と一緒にだが、できること出来ないことは関係機関と十分に連携を取りながら対応していく</p>		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入院時と同じで本人、また受け入れ側が困らないような対応はしていく予定</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>本人を尊重するよう接遇・言葉遣いは気をつけている</p>	<p>本人や家族などからも気になることはないか聞きながら、プライバシー・誇りを大切にしたい対応をしていきたい</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>個々のペースに併せた言葉かけや聴く姿勢をもつようにし、できる限り自分の意思・意見が言えるよう配慮している</p>	<p>今後も充分配慮して行っていく</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の方のペースに合わせて援助できるよう配慮しながら行っている</p>	<p>今後もよりよく過ごせるように努めていく</p>
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>本人が来た衣服などは出しやすいようにタンスにしまったり、よく着る服などはハンガーにかけるなどしている。理容は訪問理容を希望される方とご家族で馴染みの店にお連れしている方もいる</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>出来る限り個々の方に併せて、協力してもらおうよう声かけ参加していただいている。好みについても配慮しながら行っている。</p>	
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>状況に応じて楽しめるように配慮はしている。煙草や酒を飲まれる方は今はいない。希望があれば、状況見ながら対応していきたい。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	一人ひとりのパターンの把握に努め、必要に応じて声かけ誘導・介助を行っている		
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	本人の体調や希望ペースに応じ行うようにし、清潔が保てるよう配慮している		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	本人のペースに合わせて休息、睡眠等は配慮している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	一人ひとりに併せ、洗濯や調理、散歩や買い物など分担・役割を決めて行っている		
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	入居者の管理能力に応じて、本人で管理している方もいれば、ホームで管理している方もいる		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	天気や体調にもよるが、散歩や買い物など出る機会を多くするようにしている		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	毎月、行事として外出行事を設けている 博物館にいったり 等		地域のスポットやイベントも調べたりしながら、様々なところへ行けるようにしたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族にも配慮しながら、本人の希望に応じてやり取りを支援している		今後も継続していく
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでもきてくださいねと声をかけ、部屋やフロアでも過ごしやすく配慮している		今後も継続していく
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	市の資料などを活用しながら、拘束についてはスタッフ間で共有するよう取り組んでいる		研修を行い、まずは身体拘束をしないことをスタッフに周知している。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、居室には鍵をかけてはいない ユニット入り口のドアについては、事務所に人がいないときと夜間時のみ、オートロックをしている		出来る限り、鍵などをかけないようにする工夫を常に行っていきたい
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	本人のプライバシーには尊重しながら、所在等については常に確認するように努めている。夜間は定期的に巡回し、安全に配慮している		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみや包丁などは普段は見えないところに保管はしているが、使用するときは個々の方の能力に併せてスタッフが一緒に行うなど配慮している		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危険防止については、常に環境含め、確認しながら行うようにしている。研修なども出来る限り参加している		様々な面が想定されるので、修など積極的に参加しどのようなことがあっても対応できるようにしたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の対応については、入社時に行うとともに定期定期に主になっている。		全ての職員に浸透するようにしていきたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	充分に行えていない		入居者・地域の方含めての消防訓練などをホームで開催したりして、協力を呼びかけるようにしたい
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族にもよるが、医療との連携を取りながらリスクについては家族の希望、本人の希望に出来る限り添えるよう話し合いながら対応している		入居時、及び状態の変化時等に、家族と連絡を取り、ご本人様の状態から推測されるリスクの説明、こちらの対応方法を説明しております。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化や異変については常に日中・夜間帯と状況を互いに報告しながら、情報を共有し、早期に対応が図れるようにしている		まずは、お客様をよく看ることを徹底し、いつどんなことが起こるか分からないことを理解し、異変時には即対応するように心がけています。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	必ず、薬情報をスタッフが見やすい場所に置き、変更時など必ず目を通すようにしている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェックにて排泄回数等を把握し、食事の工夫や、運動を行っている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	朝と就寝前の口腔ケアは徹底されている。		訪問歯科を利用しているので、定期的に検診も行っていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は記録し、バランスを確保できるように配慮している		体重等の増減も鑑みながら、バランスの良い食事が取れるよう配慮する
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し対応している。インフルエンザなどはスタッフ含めて予防接種を行うなど対応している。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	厨房は、ハイターなどを薄めたものでタオル等はつけ置き殺菌し、洗濯。床周りなども薄めたもので毎日ふき取り、衛生管理には気をつけている 食材も賞味期限の切れたものはチェックし廃棄するようにしている		継続し衛生管理に努める
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関建物についての工夫は行っていないが、できる限りの笑顔でお迎えするようにしています。		中の様子なども伝えられるような掲示などの工夫を今後は行っていきたい
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔を心がけ、定期的な掃除を行い、リビングには季節の花を飾ったりと工夫をしている また入居者に応じて居室の扉にすだれをかけたたりして、直接中が見えないような工夫などもしている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気のあった方同士、近い席に配置し、楽しんでいただくようにしています。一人になりたいときは、自由にしています。		入居者の方に併せてなるべく過ごしやすい環境、配置を心がけていきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れたものを持ってきていただくようにしています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	季節に応じて、また入居者に併せて温度調節、空気の入れ替えは行っている		今後も継続し、極端に外と差が出ないよう配慮し行っていく
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下など必要箇所には手すりがあり、また車椅子の方でも過ごせるように工夫されている		入居者の身体状況は常に変化していくので、それに応じて環境の整備工夫には努めたい
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	その方が分かるところを最大限に引き出し、混乱の少ないように心がけている。		環境を変える必要が生じたときは、スタッフと話し合い検討してから行うよう工夫している
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダには利用者が出ることはないが、植木などを置き、見て楽しめるようにしている。		今後も楽しんでもらえる工夫をしていきたい。

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

介護度の重い方が多い為、その方の心身状態に十分注意を払いケアをさせていただいています。  
お客様一人ひとりに合わせたケアを提供する為に、コミュニケーションをよくとり、臨機応変に対応させていただいています。